

命を守る・
平和をつくる

人道支援/
平和構築

パレスチナ



自らの力で暮らしを
守ろうとする人々とともに歩む

ガザ地区ではイスラエルによる封鎖が12年目を迎え、経済状況の悪化が著しく、失業率・貧困率は上昇し、物資の不足も深刻です。ヨルダン川西岸ではイスラエルによる入植地の建設、土地収奪や家屋破壊が進行しており、人々は日々当局や入植者からの暴力に晒されています。特に東エルサレムは保健医療・教育・労働へのアクセスが阻まれており、占領の差別的な社会構造の下で生まれ育った若者たちの中には、未来に希望を持つことができず、暴力による抵抗に訴える人もいます。



破壊された難民キャンプの家屋とその横にそびえ立つ分離壁。右側には入植地の家々が整然と並ぶ

子どもの栄養失調予防事業 (ガザ地区)

[活動概要] 事業2年目の本年度から事業地を4か所に拡大。ガザ中部の難民キャンプ等で、現地NGO「人間の大地(AEI)」の保健師と地域の女性ボランティア40名とともに、住民に対し子どもの栄養と成長・発達教育、3歳以下の子どもの検診をUNICEFとの協働事業として実施しました。ボランティアは地域の子育てアドバイザーとなるべく研修を受け、保健師から指導を受けながら、子どもがいる家族、妊産婦を対象に子育てのカウンセリングや育児・栄養講習などを行いました。

[成果] 3歳以下の子ども1,193人を対象に、栄養状態に加え発達と発育の検診を実施。これまでに196名の子どもに栄養失調、35名に発達の問題が見つかり、適切な施設への紹介やフォローアップがなされています。また各家庭とのつながりだけでなく、地域社会施設の協力も得て、地域全体で子どもたちの成



ガザ：子どもと遊びながら何をどこまでできるのかを観察し、発達状況を見る女性ボランティア

長を支えるネットワークが広がりつつあります。ボランティアたちは実地研修を通し日々着実に知識と技術を向上させ、地域の母親たちからも強く信頼されています。

青少年のレジリエンスと地域保健の向上事業 (東エルサレム)

[活動概要] 青少年に対し、「苦難に直面しても暴力に屈さず、しなやかに元に戻る回復・抵抗力」であるレジリエンスを向上するため、現地NGO「医療救援協会(MRS)」とともに事業の3年目を実施。エルサレム県内19校の学校保健委員会の生徒たちに研修を提供しました。彼らは他の生徒や地域の人々に知識を伝達し、コミュニティと協働して地域社会の保健・衛生に関する課題を解決することで、自尊心を高めています。

[成果] 自分たちが学んだ保健の知識を下級生に伝達し、地域の人たちの協力を得て資金を集め学校内外の環境整備を行う等、19校



東エルサレム：地域にゴミ箱の設置を行う学校保健委員会の生徒